

「中核市サミット2021 in 松山」の様子



一 般 質 問

12月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。
質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。
ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び、質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※QRコードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。
※12月定例会の一般質問は11月25日に通告を締切り、12月7日から5日間の日程で行いました。

行 政

第1庁舎コンクリート製ルーバーの破損

かいづ 勉議員（自由民主党）
第1庁舎南側外装のコンクリート製ルーバー破損については、今回で3回目の質問となるが、いまだに安

黒い養生ネットを外すべき 設計者に確認し検討していく

全対策のための黒い養生ネットが張られたままの状況である。地震による落下の可能性はないとの技術的評価を受けているのであれば、早急にネットを外すべきと

考えるが、市の見解を問う。
答 黒い養生ネットについては、地震時にルーバーそのものの落下を防ぐためのものではなく、継ぎ目部分の細かい破片等が落ちるなど万が一に備えたものである。春先に改修工事を予定しており、それまで外す予定はないが、設計者に確認し、再度検討していきたい。

中核市サミット

オブザーバー参加 市の認識は 今後の調査研究に向け大きな刺激に

荒木詩郎議員（緑風会第1）
令和3年11月11日、松山市で中核市サミットが開催され、本市はオブザーバーとして参加した。そこで

当該サミットに参加しての本市の所感を問う。
答 当該サミットでは、様々な議論が活発に行われ、中核市になって与えられた幅広い権限を持つ責任ある

都市としての自負、地域のリーダーとして、自らが地域を牽引していくという姿勢が強く感じられた。また、この幅広い権限を最大限に活かしながら、自立した判断のもと、健康で安全安心なまちづくりを目指す強い意志が、いずれの市からも感じ取れ、今後の調査研究に向けて刺激を受けた。

第1庁舎の駐輪場

清水みな子議員（日本共産党）
第1庁舎駐輪場内の2段式ラックについては、駐輪幅が狭い、上段に頭をぶつけてしまうなどの声が寄せ

駐輪スペースの拡大を 使いやすい駐輪場目指して整備する

られたため、3割程度を撤去することで危険性の低減に努めてきたとのことである。しかし、繁忙期などには駐輪場が満車になってしまつたため、駐輪スペースを増やすことはできないか。
答 駐輪スペースについては、これまでも敷地内のスペースを転用するなどして約200台の駐輪台数を維持している。敷地内に限りがあることから大幅な拡大は見込めないが、年度末の繁忙期に向けて、今後も市民が使いやすい駐輪場を目指して整備していきたい。

マイナポイント第2弾

付与方法がわからない市民の支援は 専用窓口の充実を検討したい

つかしたかり議員（市市を良くする会）
マイナポイントの第2弾が予定されているが、当該ポイントの付与方法がよくわからないという市民からの声を聞く。このような声に対し、本市は市民に寄り添った対応をすべきだと考える。そこで、自分で手続きを行うことが難しいという市民に対して、どのような支援を検討しているか。
答 窓口の対応としては、市内5カ所にマイナポイント専用窓口を設置し、希望者が職員と一緒に申し込みを行う等の支援を行っている。今後は、市公式ウェブサイトを周知する他、窓口の混雑状況によっては予約制の導入等、細やかな支援ができるよう検討したい。

道 路 交 通

本八幡駅のホームドア

稲葉健二議員（創生市川）
本八幡駅におけるホームドアの整備時期は、令和7年度末までを予定しているとのことだが、同駅は、都

整備時期を早めることはできないか 早期の整備を要望していく

営新宿線からの乗り換えで利用する者が多い他、電車の入線時に危険な場面に遭遇するケースも見られる状況である。そこで、同駅へのホームドア整備を1年でも早めることはできないか。
答 東日本旅客鉄道株式会社にに対し、本八幡駅におけるホームドアの整備時期について確認を行ったところ、同駅については早期整備の可能性を検討しているとのことであった。本市としても、早期に実現するよう要望していく。

自転車事故対策

高齢者対象の対策にどう取り組む 高齢者の特徴踏まえて対策を行う

石原みさ子議員（緑風会第2）
千葉県内の交通事故全体に占める自転車事故の割合は、2割から3割であるのに対し、本市では約4割と

高く、県内ワースト1位である。特に65歳以上の高齢者による事故件数の増加が顕著とのことだが、市は今後、高齢者を対象とした事故対策にどう取り組むのか。
答 今後の対策としては、身体能力の低下など高齢者の特徴を踏まえた自転車安全利用講習会を自治会等を通じて積極的に開催したいと考えている。また、講習会で使用するリーフレットや講習内容については、警察にも協力してもらいながら高齢者にわかりやすいものとなるよう進めていく。

行 政

レエル・ロマネスクと鉄道むすめ

アニメのプレミアムグッズ製作は可能か 様々な手法を検討する必要がある

鈴木雅斗議員（緑風会第1）
レエル・ロマネスクや鉄道むすめなど売れているアニメの限定グッズを製作すれば、プレミアムな商品と

して販売することができる。そこで、作品の版權を買い、市独自のグッズを作り、それを障がい者作業所等で製作することはできないのか。
答 市独自のグッズ製作は、市のPRや雇用にも繋がりが得るものである。また、課題としては、障がい者作業所等でのグッズ製作には、障がいの程度等により作製品目の判断が必要であることが挙げられる。そのため、グッズ製作は、様々な手法を検討し、作品の版權や目的に沿った使用料を考慮し交渉することが必要である。

市長「後援会関係者」の逮捕

逮捕事案の質問でなぜパワハラの回答 答弁をしないとは言っていない

越川雅史議員（無所属の会）
市長後援会関係者逮捕事案について、「市政とは関係ない」との説明を市長は繰り返しているが、副市長

をはじめ、多くの職員が千葉県警より事情聴取を受けている。また、市政に係る資料も数多く押収され、業務に著しい悪影響が生じており、市政とも大いに関係があるのではと質問しているが、なぜ逮捕事案の答弁ではなく、関係のないパワハラに答弁が返ってくるのか。
答 パワハラ事案については、論点をすり替えて物事を済ますのではなく、しかるべき場所でのしかるべき弁明をすべきである。逮捕事案について、私は答弁をしないとは言っていない。